

ラ フォレ セ ラ ヴィー 森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



チャド共和国で武力衝突が起きる前、アベシェ地域の小学校で、緑化支援活動を行いました。その時に建てられた看板には、日本とチャド、ODAとNGOが協力者として明記されています。

チャド共和国のその後

現在ではチャド共和国でも、インターネットや携帯電話が普及しています。首都ンジャメナの商店では、一般の人たちでも衛星電話を購入することが出来ます。しかし、いったん治安状況が不安定になると、全ての通信が遮断されてしまいます。情報の網が張り巡らされている今の世界にも、突如として真空地帯が生じてしまうのです。ところが、今回はいかにも情報社会らしいルートで現地の実情を知ることが出来ました。現地に居合わせたジャーナリスト達が、集めた情報や映像を、衛星回線を利用したインターネット上に公開したのです。

その情報によると、ヘリコプターとロケット砲による政府軍の反撃とフランスをはじめとする諸外国の現政権支持の表明を受け、反政府勢力は首都から引き上げました。直ちに政府によって、チャド全土を対象とした非常事態宣言が出され、特にンジャメナでは政府軍による厳しい取締りが行われました。銀行や航空会社、輸入品を扱う商店が並んでいた大通りには、大きく成長した街路樹が立ち並んでいたのですが、反政府勢力の残党を炙り出すため、全て切られてしまいました。よく見知った通りの変わりようには呆然とするしかありませんでした。幸いにも、現地に滞在していた日本人シスターの方々は、フランスに避難されていました。

確かに、画像を含めた現地の情報は、日本にいながらにして見たり読めたりします。しかし、そのようにして得られたものが自分にとって身近であればあるほど、実際に手肌で感じたい、居合わせたいと思わせます。現地の人々と顔を合わせることでできる日が早く来ることを祈念しています。

(緑のサヘル 代表 岡本敏樹)

TICADをご存知ですか？



皆さん、「アフリカ開発会議」って聞いたことがありますか？ 1990年代前半、東西冷戦の終結に伴って国際社会のアフリカへの関心は薄れつつありました。1993年、日本政府は貧困に苦しむアフリカへの関心と呼び戻すため、国連や世界銀行などと共催で、アフリカの開発をテーマとする国際会議を催しました。

この「アフリカ開発会議」は、その英語名「Tokyo International Conference on African Development」の頭文字を取って TICAD (ティカッド) とも呼ばれています。TICAD はその後も 1998年、2003年と 5 年ごとに催されており、今年が第 4 回の開催年にあたります。

第 4 回アフリカ開発会議 (TICAD IV) は、5 月 28～30 日に横浜で開催される予定です。この会議ではアフリカの 53 か国のほか、欧米の援助国や国際機関、NGO 等の市民社会団体の代表も参加し、平和や環境、生活を取り巻く様々な問題とその対応について話し合われることになっています。(注)

2007 年 3 月、アフリカに関係する多くの NGO が集まり、「TICAD IV NGO ネットワーク (TNnet)」が発足しました。このネットワークには、39 団体 (08 年 4 月 24 日現在) が加盟しており、もちろん「緑のサヘル」もその一員です。

「TNnet」は、TICAD IV に市民社会の声を反映させるため、外務省との定期協議会、様々なシンポジウム、イベントの開催を行っています。皆さん、もし TICAD や「TNnet」について関心を持たれたら、ぜひ一度ホームページをご覧ください。



昨年 10 月、「TNnet」の主催で開かれた TICAD IV に向けた国際シンポジウム (写真提供：TNnet)

●TICAD IV NGO ネットワーク (TNnet) ●

ホームページ <http://www.ticad-csf.net/TNnet/>

(注) 「経済成長の促進」「国連ミレニアム開発目標の達成」「平和の定着」「気候変動への対応」の 4 つの協力分野に関する議論が行われることになっています。

活動報告

ブルキナファソ



<タカバングゥ地域生活保全事業/技術移転事業>



建設中の裁縫グループアトリエ

4つのグループのうち、荒廃地回復と畜耕は季節柄お休みしていますが、裁縫グループではアトリエ（作業場）が完成しました。昨年の雨期以降自宅で作業していましたが、今後はこのアトリエに集まり、皆と一緒に作業をする事になります。石鹸グループでは、価格の高騰により材料のカリテバターが購入できず、活動が停滞していました。しかし、OOS（ローカル NGO）が村で採取できるバラニテス（在来樹種）の実を代用して生産を行う事を提案してから、再び意欲的になっています。

<バム県コングシ地域小学校緑化支援>

2月に10校を追跡調査しました。どの学校も苗木の保護や灌水に積極的に取り組んでいました。しかし灌水用の水の不足、牛などの家畜による食害、灌水道具の不足などの問題に直面している学校もありました。4月末に予定されている発表会では、そのような困難を伴いつつ行われた取り組みを、それぞれに評価したいと思います。



バンゴ小学校の児童と校庭に植樹された苗（手前）

活動報告 3

タンザニア



<難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業>

昨年の4月から、タンザニア西部のキゴマ州キボンド県ムグンズ村で行っている国際緑化推進センター（JIFPRO）との共同事業の現場に、フォローアップ調査のため出張しました。



植樹されたセナ・スペクタビリスの間にトウモロコシが作付けされた。

「植林サイト」薪や木材用の森林資源が減少しているこの村では、村の環境委員会を中心に10haの植林サイトを設置しました。サイトは高齢者や配偶者を亡くした方などを優先した計43人の村人に分割され、植林をすると同時にトウモロコシやキャッサバなどの作物も作付けされています。収穫物は個人の利益になり、数年後に樹木が生長したら村の管理下の植林区として残されることになります。約25,000本の苗木が生産され、その内8,000本をサイトに植林し、残りは村の希望者に配布されました。



水源に続く浸食。

「水源保護植林」数年前から、村人が利用する天然水源に、土壌浸食による砂が流入しはじめ、水源が危機に晒されています。この水源を保護するため、等高線上に小さなダムを作り、土壌を固定するために苗木や草を植えました。

活動報告

国内活動



2月から3月にかけて、公的機関や民間組織によるアフリカでの開発に対し、一般の方の理解を深める趣旨のセミナーや会議が、数多く開催されました。緑のサヘルからもこれまでの活動や団体の役割などについて独自の見解を提示するなど、各界の援助関係者との有意義な意見交換が行われました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

- 2月1日（金） 農林水産省 海外派遣技術者国内研修 講義（菅川）
- 2月21日（木） 早稲田大学アフリカ研究所主催シニアレベル国際会議（岡本）
「気候変動と資源希少化時代における日本のアフリカ政策～アフリカの人びとの
主導による持続可能な開発を目指して～」
- 3月17日（月） 財団法人 国際緑化推進センター主催 国民参加森づくり委員会参加（岡本、佐藤）
- 3月27日（木） 社団法人海外林業コンサルタント協会 会議参加（岡本）
- 4月2日（水） 毎日新聞東京社会事業団 訪問（岡本、竹越）
- 4月9日（水） ブルキナファソ大使館 表敬訪問（岡本、竹越）
- 4月17日（木） 川井中学校（岩手県） 修学旅行生 事務所訪問（岡本）

● JICA 公開セミナー「アフリカの自然環境保全と生計向上 ―住民へのアプローチを考える」

JICA 国際協力総合研修所 （3月30日 日曜日）

緑のサヘルの代表岡本敏樹が、発表者兼パネリストとして出席しました。住民の生活向上を図りつつ住民による持続的な環境保全活動を実現するためには、どのような点に配慮し工夫を凝らすべきか、チャド共和国での事例を軸に、緑のサヘルの経験を発表しました。



同様の事例として発表された JICA の事業では、制限を設けなくて誰でも参加できるフリースタイルのアプローチや、自分たちの強みや価値を住民自身が発見し、その延長上にイメージした「ありたい状態」を目指していくポジティブアプローチなどが紹介されました。

● 東京外国語大学 Career Vision 主催講演会 「『アフリカと』仕事をするということ」

（4月22日 火曜日）

ブルキナファソから一時帰国中の町慶彦と東京事務局スタッフの佐藤裕美が、東京外国語大学の就職活動サークル Career Vision 主催の講演会で、お話ししてまいりました。長期現地駐在員としての立場から見た、仕事としての活動という話題から、NGO 組織の運営、緑のサヘルの経歴など、普段の報告会とは少し赴きを変えた内容となりました。就職活動を控えた方や将来 NGO 団体に就職したいと考える方にとって、興味深い内容であったとの感想をうかがうことができました。



イベント情報

～ アフリカ気分を楽しもう ～



● アフリカン・フェスタ

5月17日(土)、18日(日) みなとみらい 赤レンガ倉庫 イベント広場(横浜市)

今年のアフリカン・フェスタは横浜の赤レンガ倉庫で開催されます。

中華街や横浜元町、みなとみらいへのお出かけのついでに、期間限定で現われる「アフリカ」に立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

緑のサヘルのブースでも、民芸品販売や活動紹介をいたします。

主 催；外務省

共 催；横浜市

後 援；駐日アフリカ各国大使館、
神奈川県

入場料；無料

* アフリカン・フェスタと同日程ではありますが、東京で開催される「第3回ロハスデザイン大賞 2008 新宿御苑展」でも、緑のサヘルはUNHCR 協会への資料提供というかたちで出展いたします。

● なかアフリカンウィーク

5月24日(土)、25日(日) なか区民活動センター ZAIM 別館 (横浜市)

TICAD IVの開催で、アフリカ・ムードが高まっている横浜市中区でのイベントです。アフリカの民族衣装や絵本、太陽熱を活用した調理など「知り、考え、行動するきっかけとなる」ワークショップに参加できます。緑のサヘルも現地の写真を展示し、活動の紹介を行います。

主 際；横浜市中区役所

共 催；アフリカ開発プロジェクト、ソフトエネルギープロジェクト、アフリキコ、
横浜市立みなと総合高校、アフリカと神戸俊平の会 など

後 援；アフリカ開発会議横浜開催推進委員会

入場料；無料



● 現地駐在スタッフ 町慶彦 帰国報告会

5月31日(土) 藤沢市労働会館 * 18時からを予定 (藤沢市)

2008年3月22日にブルキナファソから帰国した町慶彦が、神奈川県藤沢市で帰国報告会を行います。青年海外協力隊員として、また緑のサヘルの現地調整員として、約3年間ブルキナファソに滞在してきた体験や、活動についてお話をさせていただきます。

詳細についてはホームページなどにてお知らせいたします。詳細は直接緑のサヘル東京事務局までお問い合わせください。

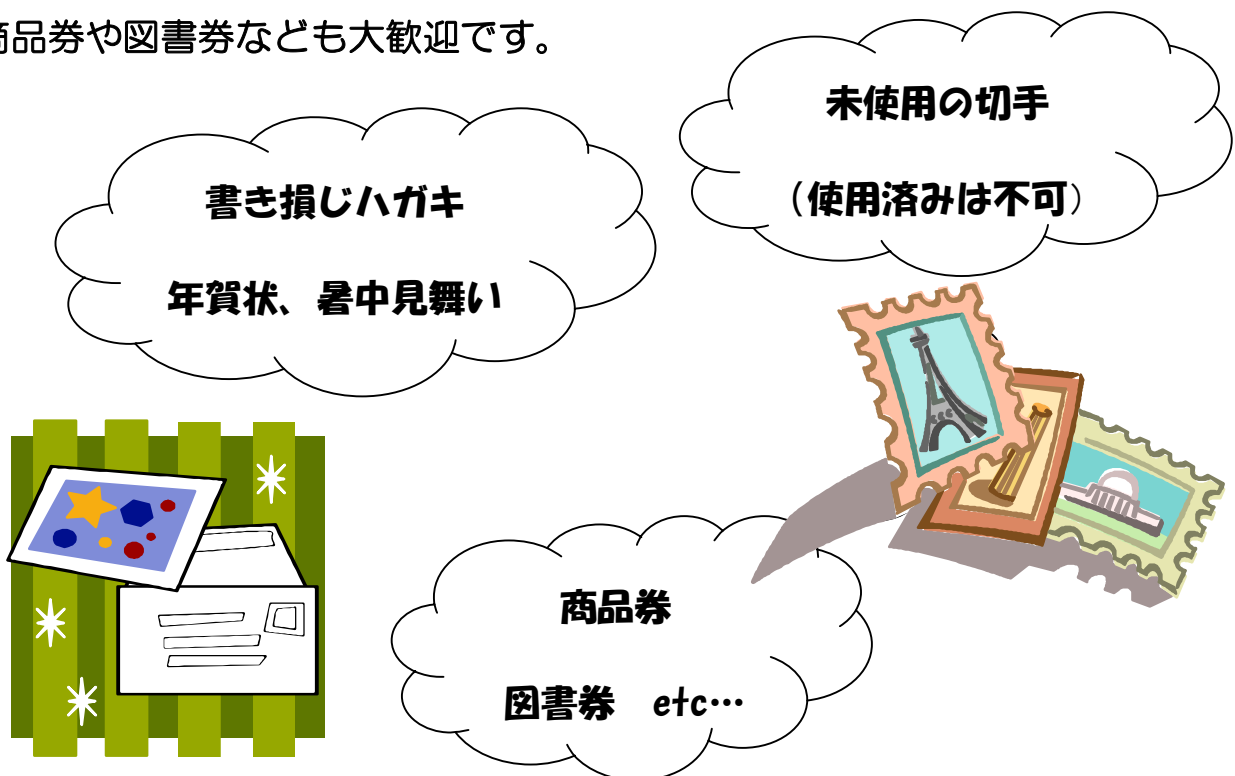


事務所がある千代田区神田紺屋町で行われる環境イベント(6月7日、8日)にも、緑のサヘルは参加を予定しています。是非この機会に活動について学んでみませんか？

どうぞご協力ください！

誰にでもできる国際協力！！

皆さんの家に書き損じのハガキや、使わなかった年賀状はありませんか？
もしお持ちなら、「緑のサヘル」に送って下さい。未使用の切手、あまっている商品券や図書券なども大歓迎です。



書き損じハガキや年賀状、暑中見舞い用のハガキは、郵便局で新しいハガキや切手と交換し、活動に役立てます。商品券や図書券は、お金に換えて、活動に役立てます。

国際協力はいつ、どこでもできます。「アフリカの人たちのために何かをしたいけど、どうしたらいいかわからない」と思っている方も多いのではないのでしょうか？
もし、そうなら私たち「緑のサヘル」にハガキや切手を送って下さい。
国際協力活動のため、大事に大事に使わせていただきます。

*** ぜひ家族や友だち、学校や職場の仲間たちも誘って下さいね。**

ありがとうございました

【 継続会員のみなさま 】

丸山 タミエ/碓井 道子/澤井 温子/和田 隆資/宮根 恭子/石本 雄大/金 明希/鈴木 寿一
加藤 洋一郎/石 弘之/武内 進一/河村 ミヨ子/加藤 里美/田中 ちえ子/河合 令子
山田 静子/立屋敷 哲/福川 佐代/浅輪 重信/山口 愛子/松本 キミ子/野々山 富雄
佐藤 京子/向後 元彦/中久保 慎一/小川 あい子/合川幹男・憲子/アーユス仏教国際協力ネットワーク
大枝 純・美智子/後藤 琢雄/桂井 武/田中 眞智恵 他匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付を頂きました 】

谷村 泰子/井上 比呂志/碓井 道子/青池 歌子/三浦 里美/辻村 聖次/手塚 太郎/谷 ひろ子
石川 修/新潟県新潟市立曾根小学校4年生/岩手県一関市立滝沢小学校/ (株) INAX 162名 /小百合幼稚園
小林 伸張/内藤 泰子/斉藤 美子//援助修道会仁川修道院/村上 和代/田中 ちえ子/本多 れい子
宗教法人幼きイエズス修道会/曾山 卓司/小池 昌子/石塚 由紀子/富士ウェルテック株式会社
永井 寛子/浅輪 重信/丹 邦子/小枝 清子/高橋 桂子/上畠 弘子/榎本 みつ枝
岩手県盛岡市下橋中学校エコ委員会/米原 すみ子/ (株) 東京アグリビジネス/e-ボランティア・ネット
北川 幸子/佐藤 京子/君島 崇/豊島 正幸/植田 友則/愛知県鳳来町立鳳来中学校32回卒業生
江刺 和広/佐藤 幸子/ 他匿名をご希望の方 26名

【 書き損じハガキを頂きました 】

大阪信愛女学院短期大学/岩手県宮古市立第一中学校 (敬称略、確認順)

上記は2008年2月1日から2008年4月20日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2008年4月21日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみを掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

【 08年の助成団体・協力団体 】

社団法人 国際農林業協働協会/毎日新聞東京社会事業団/日本経団連自然保護基金

掲載されました

- ▶ 株式会社少年写真新聞社：小・中・高校生向け壁新聞『少年写真ニュース』（緑のサヘル写真掲載）
- ▶ アーユス仏教国際協力ネットワーク：寺社訪問者向けリーフレット『春のしおり』（緑のサヘル活動紹介）

***** 緑のサヘル東京事務局から、ちょっとだけお知らせです *****

2008年4月に、緑のサヘル代表理事の岡本敏樹が結婚いたしました！チャド共和国におけるスーダン難民キャンプ地周辺での活動がきっかけで素晴らしいパートナーと出会い、このたび新しい一歩を踏み出すこととなりました。これからも一層の応援をよろしくおねがいいたします。



末永くお幸せに！

おしらせ

緑のサヘル ブログが立ち上がりました

今年の4月より、インターネット上の媒体として「緑のサヘル スタッフブログ」を開設いたしました。ブルキナファソ現地事務所や東京事務局から、スタッフの声を届けたいと思います。また、緑のサヘルに関する最新情報も随時アップいたしますので、是非アクセスしてみてください。
(URL: <http://ags-japon.cocolog-nifty.com/blog/>)

ボランティアさん大募集！！

緑のサヘルでは、ボランティアさんを募集しております。5月に開催されるイベント等での準備・運営や、東京事務局での簡単な事務作業をお手伝いしていただける方は、是非ご連絡ください。「私も何か協力したい」「新しいことを始めたい」という方は、メールやお電話などでお気軽にお問い合わせください。月に何日でも、1日に何時間でもOKです。

また、直接事務所にお越しただけなくなくても、ホームページやリーフレット、ニュースレターの英語翻訳などでご協力いただくことも大歓迎です。

(作業例)

- ・ニュースレターの発送準備、封筒つめ、ラベル貼り
- ・活動写真・映像資料などの整理、ファイリング
- ・カレンダー発送準備、民芸品管理の手伝い

現地の状況や国際協力に関する貴重な話を、直接スタッフから聞くことができるいい機会にもなります。

【目次】

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1・・・表紙 | 5・・・イベント告知 |
| 2・・・TICADとは | 6・・・ご協力お願いします |
| 3・・・ブルキナファソ、タガナ活動報告 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・国内活動報告 | 8・・・お知らせ |

< 編集後記 >

●最近雨の日が多いですね。雨を眺めながら、乾季まっさかりの現地に思いを馳せると、かなりのギャップを感じます。(岡本)

●春、満開の桜を見るたびに、日本に生まれて本当に良かったと思います。でも、チャドの50度も妙に懐かしいです。(菅川)

●猛暑の4月にブルキナファソ到着。大活躍の扇風機を前に、この編集後記を書くも、ああ停電。汗、汗、汗。(竹越) ●調査のためタンザニアへ赴いた直後、NGO 職員向け研修でインドネシアへ。緯度の差0度2分、西の海に沈む夕日はなんだかとても感慨深いものでした。(佐藤) ●日本に一時帰国しています。いい季節に帰れると喜んでいたのですが、今、花粉症に悩まされています。(町)

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなどハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表にございます。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】郵便振替用紙にご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振り込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北 東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie ! Vol. 34

編集 岡本敏樹 菅川拓也 竹越久美子 佐藤裕美 町慶彦/発行 菅川拓也/発行所 緑のサヘル/印刷 社会福祉法人 東京コロニー
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041

HomePage: <http://www.jca.apc.org/~sahel/> E-mail: sahel@jca.apc.org